みんなで守る
地域の未来Project
2022
1学期
4月～6月号

Save Our Future News

発行者
愛媛県立松山工業高等学校
防災リーダー・グローバルスタディー
〒790－0021
愛媛県松山市真砂町1番地
TEL089－931－8195
e-mail:matsuyamath@gmail.com

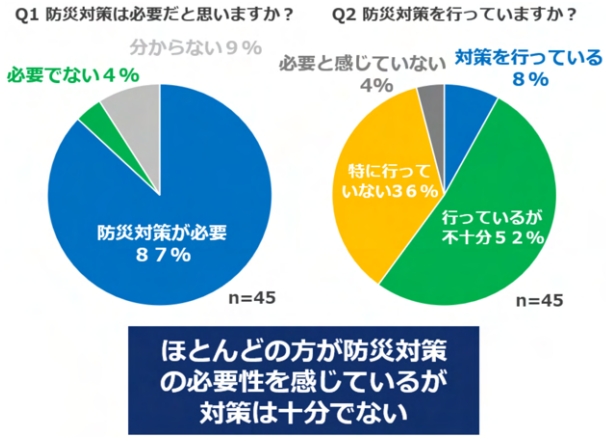
避難について考えよう!!
マイ・タイムラインカードゲーム作成へ

今年度、えひめSDGs甲子園に参加することになりました。3月26日にキックオフイベントをオンラインで行い、県下から12校の高校生がSDGsに関する活動を行いその活動や成果を8月23日に発表しグランプリを決定します。本校のテーマは、「Card Game de BOUSAIの開発!! 」です。

テーマ設定の理由

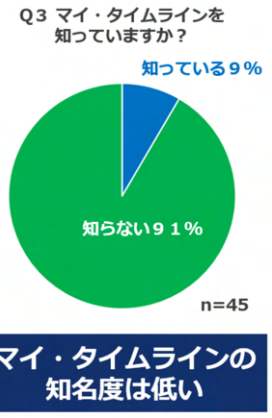
3月下旬に、SDGs甲子園のテーマを設定しなければならないこととなり早速「あいテレビ×SDGsのイベントに参加し、活動発表やブースでの啓発活動、防災に関する意識調査を行いました。

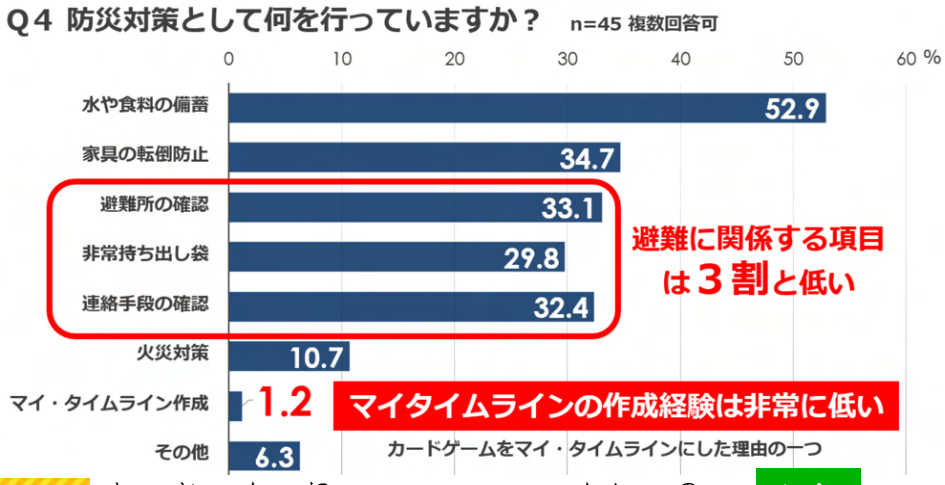
活動発表の様子



ほとんどの方が防災対策の必要性を感じているようですが、対策は十分できていないとの回答が多くありました。また、マイ・タイムラインについての知名度は、非常に低く、知らない人は9割を超えていました。

具体的な防災対策としては備蓄が多く、家具の転倒防止や避難所の確認、連絡手段の確認や非常持出袋の用意が約3割程度でした。マイタイムライン





の作成経験については1.2%とほとんど作成したことがないとの回答でした。そこで、今回のテーマを防災に関するカードゲームとし、このカードゲームを「マイ・タイムライン」にすることに決めました。

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとはいったいどんなものなのでしょうか？

国土交通省のHPによれば、「マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものと書かれてあります。具体的にどんなものか、ご存じですか？

今年度のはじめに、松山市の住民の方には、新しいハザードマップが各家庭に配布されています。その中に、マイ・タイムラインも一緒に入っていたと思います。マイ・タイムラインを簡単に説明すると、災害時、いつ何を準備し、いつどこに逃げる（避難する）のかを事前に決めておく計画表のようなものです。

ブースでの啓発活動の様子

家族でハザードマップなどを見ながら話し合い、計画表を完成させておくと避難時に役に立つというものですが、ただ、学校でも何度か作成しましたが、簡単作成できるのですが、あまりリアリティがありませんでしたそこで、カードゲーム化すると共にプレゼンや指導内容なども同時に考え、教材としても活用できる内容にすることにしました。

オンライン交流

全国でカードゲーム等を活用して防災活動を行っている高校生や大学生とオンライン交流を行い、その作成方法や活用方法、効果的な活用方法などを聞くことにしました。今年度は、高知県の室戸高校と山口県の徳山商工高校の生徒の皆さんと交流しながら話し合いを進めています。

オンライン交流の様子

協力ありがとうございました

集まった制服

昨年末から制服のリユース活動を行っていますが、みなさんの協力のおかげで４月10日現在で２４８点が集まりました。集めた制服は、４月21日にNPO法人のアゴラ様に贈呈いたしました。

積み込みの様子

贈呈式の様子

卒業生の皆さん、在校生の皆さん、保護者の皆さん御協力ありがとうございました引き続き制服の回収を行っていますので協力してください。

松山市SDGs協議会の協力で、水素を燃料とした世界初の双胴旅客船 ハイドロびんご"Hydro BINGO"が松山観光港に来るということで見学会に参加しました。

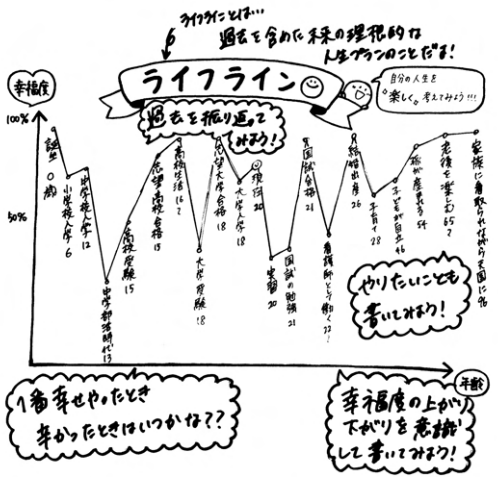
ハイドロびんご見学

ハイドロびんごは、総合化学メーカーのトクヤマ周南市が、国の委託事業として徳山下松港内で実証試験運航を行なっている船で、燃料に力セイソーダ製造時の副生水素を有効活用しているエコな船です車だけでなくいろいろな輸送手段が二酸化炭素の削減のために頑張っているんだなと思いました。

そこに愛があるか？

3月31日に、先月行われたNPOのイベントでつながった「プアリンクえひめ」のみなさんと、ライフラインについてワークショップを行っていただきました。人生設計や思春期に必要な性についての正しい知識について楽しく学ぶことができました。防災や避難所運営にも女性の視点が必要だといわれています。

EV体験会開催!!



ますので大変参考になりました楽しくワークショップをしていただいた大学生の皆さんありがとうございました。

タイプ	C+walk T（立ち乗りタイプ）	座り乗りタイプ	車椅子連結タイプ
イメージ	公道走行不可	公道走行可能	公道走行可能
主なねらい	いつまでも社会貢献したい シニア労働者の活躍をサポート	独力歩行は可能も、長距離は困難な方の自宅－近隣施設間の移動をサポート	アクティブに行動する手動車いすユーザーの出先での移動をサポート トヨタHPより抜粋
発売時期	2021年10月発売	開発中	開発中

4月2日、トヨタ自動車様の協力により、歩行領域EVの体験会を実施していただきました。

これは、2月に行なわれた EVワークショップでグランプリをいただいた副賞として実施していただいたものです。

試乗会の様子

当日は、トヨタ自動車様が販売・試作している、C＋walk Tや座り乗りタイプ、車いす連結タイプ、「C＋podを4台を名古屋の本社から10トントラックで輸送していただきました。

トヨタ自動車では、加齢等による移動能力低下に対し、ライフステージに合わせたモビリティを提供し、生涯を通じて移動をサポートすることと免許返納後の歩行領域での使用を目的としたモビリティを開発しているとのことでした。

参加した生徒や先生たちは、興味津々で構造や使い心地に関して質問をしていました。四国初上陸のモビリティで、これからのものづくりに良い刺激となりました来校いただいた寺澤様ありがとうございました。

トヨタ自動車の寺澤様

ジュニア防災リーダークラブ発足式参加!!

ジュニア防災リーダークラブとは、松山防災リーダー育成センターが、令和 2年9月から、小学5年生から高校生を対象に結成した、防災対応力の向上をはかるとともに、将来を担っていくリーダーの育成を図っているクラブです。

本校の防災リーダーは、全員所属しており、年間を通じて様々な体験活動や啓発活動を行っています興味のある生徒がいましたら一緒に活動しませんか？

発足式の様子